



# 塗装仕様書

Ver. 23.2

株式会社アステックペイント

# INDEX

施工上の注意事項

2

施工箇所	下地	既存塗膜	塗替え回数※1	仕様	ページ
外壁	コンクリート・モルタル・ALC	一般塗料・仕上げ塗材 (リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材 (ジョリパット他))	塗替え回数は 問わない	塗装	4
				遮熱	24
				低汚染遮熱	35
				低汚染遮熱弾性	51
	新設ALC	初めての 塗替えの場合	塗装	54	
			遮熱	63	
			低汚染遮熱	68	
			低汚染遮熱弾性	75	
	窯業系サイディング	一般塗料 一般塗料クリヤー	塗替え回数は 問わない	塗装	78
				遮熱	94
				低汚染遮熱	103
				低汚染遮熱弾性	116
仕上げ塗材 (リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材 (ジョリパット他))	塗替え回数は 問わない	塗装	119		
		遮熱	139		
		低汚染遮熱	150		
		低汚染遮熱弾性	166		
金属サイディング	カラー銅板 ガルバリウム銅板 ステンレス アルミニウム	一般塗料 (下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度)	塗替え回数は 問わない	塗装	170
				遮熱	180
				低汚染遮熱	187
付帯部施工の場合					197

# 施工上の注意事項

## ①足場

- ・足場と塗装面との距離が近すぎると足場ムラが発生するおそれがあります。

## ②シーリング箇所

- ・シーリング材の上へ塗装が予定されている場合、密着不良や汚染することがありますので、ノンブリードタイプのポリウレタン系または変成シリコーン系シーリング材を推奨します。
- ・既存シーリング材に劣化・ひび割れ等の損傷がある場合は、必ず打ち替えてください。

## ③下地

- ・下地の大きなひび割れ、欠損、目違い、豆板、浮き、そり、及び突起物等を補修し、平滑な状態にしてください。
- ・モルタル等で補修を行う場合、強度が出るまで十分に乾燥させてください。
- ・ボード面はあらかじめ十分に固定されていることを確認してください。
- ・カビや藻が繁殖している場合は、除去する等の適切な処理を行ってください。
- ・高圧洗浄等により、劣化し脆弱な塗膜、ゴミ、及び油脂分等を除去してください。
- ・下地は清浄で、十分に乾燥させた状態で施工してください。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。

## ④養生

- ・塗装が予定されていない箇所及び周辺を、マスキング等できちんと養生してください。スプレー塗装の場合には、外囲いをする等周辺への飛散防止が必要です。
- ・陶磁器タイル面の洗浄が予定されている場合は、塗装面に洗浄剤が付着すると、変色や溶解等の異常をきたすことがありますので、予め塗装面の養生を行ってください。

## ⑤塗装環境

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。

## ⑥塗料の調整

- ・材料は規定の希釈率を厳守し、電動ミキサー等を用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- ・材料の希釈率は気温により変化することがあります。
- ・材料を希釈し過ぎると、隠蔽力不足やたれ、透け等の仕上がり不良・色別れ等の原因となりますので、注意してください。
- ・2液タイプの材料の場合、A液とB液を指定の比率で調合し、規定の希釈率を厳守し、電動ミキサー等で均一になるよう十分に攪拌してください。また可使用時間は温度・希釈等の条件によって変わりますので、混合後はなるべく早く使いきってください。

## ⑦塗装

- ・下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
- ・下塗の塗布量及び、乾燥が不十分な場合に上塗の施工を行うと、フクレ、ハガレ、シワ、チヂミ等の不具合が生じますので、十分ご注意ください。

## ⑧廃棄

- ・施工器具等の洗浄液が河川に流出したり土壌に染み込まないように処理してください。

**製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。**

# 【外壁】

# コンクリート・モルタル・ALC

(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材  
(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材  
(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上	ウールローラー	
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上	リシンガン	
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

- 下地調整
  - 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
- 下塗
  - 「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
  - 工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
  - ※ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
- 上塗
  - 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
  - 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

- 下地調整
  - 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
- 下塗
  - 「水性一液ビルドファイラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
  - 工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
  - ※ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
- 上塗
  - 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
  - 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	スーパーラジカルシリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス

- 下地調整
  - 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
- 下塗
  - 「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
  - 工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
  - ※ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
- 上塗
  - 「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
  - 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	シリコンフレックス JY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー-DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間以上 7日以内	—	24時間以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックス JY B液	2kg	1							

1. 下地調整
  - ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
2. 下塗
  - ・「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
  - ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
  - ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
3. 上塗
  - ・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナー-DX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレスプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - ・可使時間は4時間以内(25℃)とする。
  - ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
  - ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	スーパーラジカル シリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシガン
上塗	シリコンフレックスJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックスJY B液	2kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

- ※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。
- また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	スーパーラジカルシリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。

※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。

- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。

- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。

- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

## 3. 上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。

- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。

- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラーJY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エポパワーシーラーJY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iホ°パ°ワ°シーラー-JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	Iホ°パ°ワ°シーラー-JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー-JY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	IポワシーラーJY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	IポワシーラーJY B液	2.5kg	1		※吸込みの多い下地の場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	スーパーラジカルシリコンGH	16kg	—	0.8~1.6 ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「IポワシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6 ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	IP°パワーシーラーJY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	IP°パワーシーラーJY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	シリコンフレックスJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックスJY B液	2kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「IP°パワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	スーパーラジカル シリコンGH	16kg	—	0.8~1.6 ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	シリコンフレックスJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックスJY B液	2kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC

(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材  
(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材  
(ジョリパット他))

**【遮熱仕様】**

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

- 下地調整
  - 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
- 下塗
  - 「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
  - 工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
  - ※ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
- 上塗
  - 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
  - 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

- 下地調整
  - 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
- 下塗
  - 「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
  - 工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
  - ※ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
- 上塗
  - 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
  - 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	1ポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 0.75~1.5ℓ (清水)						
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水0.75~1.5ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 0.75~1.5ℓ (清水)						
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水0.75~1.5ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	イボ®パワーシーラー-JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	イボ®パワーシーラー-JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エボパワーシーラー-JY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー-JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エポパワーシーラー-JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー-JY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC

(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材  
(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材  
(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイナ	16kg	—	0.3~ 0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~ 1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~ 0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・「水性一液ビルドファイナ」16kgに、清水0.3~0.9ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイラー	16kg	—	0.3~ 0.9 l (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~ 1.2 l (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~ 0.9 l (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファインSi-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインSi-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドファイラー」16kgに、清水0.3~0.9 l<sup>\*1</sup> を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup> <sup>\*2</sup> 塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 l、リシンガンの場合清水0.6~0.9 l
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※ 既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※ B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※ B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※ 二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※ 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※ 二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※ 施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイア	16kg	—	0.3~0.9 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質 ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファイン MS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合 : 0~5% エアレスの場合 : 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MS-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドファイア」16kgに、清水0.3~0.9 ℓ<sup>\*1</sup> を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup> <sup>\*2</sup> 塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイラー <sup>®</sup>	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファインMF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~ 0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMF-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドファイラー<sup>®</sup>」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー-EP	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファインSi-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインSi-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラー-EP」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使用時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使用時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装口が大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファイン MS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.3 5 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MS-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※ 既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※ B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※ B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※ 二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※ 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※ 二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※ 施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	「エポパワーシーラー」	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間、2時間以上(25℃)とする。
- ※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**
- ※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。
- また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	「エポパワーシーラー」	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間、2時間以上(25℃)とする。
- ※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**
- ※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。
- また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	「エポパワーシーラー」	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテックリファイン MS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合: : 0~5%	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MS-IR B液	1kg	1	エアレスの場合: : 5~10% (清水)						

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間、2時間以上(25℃)とする。
- ※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**
- ※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。
- また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジオリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワースーラー JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エポパワースーラー JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワースーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱には十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が發揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に發揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラーJY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エポパワーシーラーJY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテックリファインSi-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインSi-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	イボパワーシーラー JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	イボパワーシーラー JY B液	2.5kg	1		※吸込みの多い下地の場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテックリファイン MS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MS-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「イボパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
  - ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
  - ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
  - ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
  - ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
  - ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。  
 ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。  
 ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。  
 ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。  
 ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。  
 ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装口が大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~ 0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~ 0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~ 0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテックリファイン MS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合 : 0~5% エアレスの場合 : 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MS-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC

(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材  
(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材  
(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱弾性仕様】

# コンクリート・モルタル・ALC (既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルトファイラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上	ウールローラー	
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上	リシンガン	
上塗	ビルト®テックリファインMS-IR (弾性) A液	15kg	15	0~3% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス
	ビルト®テックリファインMS-IR B液	1kg	1							

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルトファイラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※ 既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

### 3. 上塗

- ・「超低汚染リファイン弾性MS-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0~3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※ B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※ B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※ 二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※ 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※ 二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※ 施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC

## (既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

### 【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイナーEP	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間 以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間 以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間 以上		リシンガン
上塗	ビルドテックファイ MS-IR (弾性) A液	15kg	15	0~3% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックファイ MS-IR B液	1kg	1							

#### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドファイナーEP」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※ 既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

#### 3. 上塗

- ・「超低汚染リファイン弾性MS-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0~3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※ B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※ B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※ 二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※ 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※ 二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※ 施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

#### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



コンクリート・モルタル・ALC

(新設ALC)

**【塗装仕様】**

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9 ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup> ※2 塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。  
※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシガンの場合清水0.6~0.9 ℓ  
※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>  
※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上	ウールローラー	
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上	リシンガン	
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。  
※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ  
※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>  
※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	スーパーラジカルシリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。  
 ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ  
 ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>  
 ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~ 0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~ 1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~ 0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	シリコンフレックス JY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシ ナーDX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックス JY B液	2kg	1							

- 下地調整
  - 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
- 下塗
  - 「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
  - 工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
  - ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
- 上塗
  - 「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレスプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - 可使時間は4時間以内(25℃)とする。
  - 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
  - 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

- 【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
  - 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
  - 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
  - エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
  - ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
  - 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
  - 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
  - シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
  - 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

- 下地調整
  - 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
- 下塗
  - 「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
  - 工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
  - ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
- 上塗
  - 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
  - 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上	ウールローラー	
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上	リシンガン	
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー-Eポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシガン
上塗	スーパーラジカル シリコンGH	16kg	—	0.8~1.6 ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラー-Eポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6 ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシガン
上塗	シリコンフレックスJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックスJY B液	2kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC

(新設ALC)

**【遮熱仕様】**

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。  
※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ  
※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>  
※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9 ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup> ※2 塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシガン
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



コンクリート・モルタル・ALC

(新設ALC)

**【低汚染遮熱仕様】**

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイナ	16kg	—	0.3～ 0.9ℓ (清水)	0.80～ 1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9～ 1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1～2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6～ 0.9ℓ (清水)	0.70～ 1.2 kg/m <sup>2</sup>	1～2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファインMF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0～5% エアレスの場合: 5～10% (清水)	0.30～ 0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMF-IR B液	1kg	1							

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・「水性一液ビルドファイナ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70～1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30～0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~ 1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~ 1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファインSi-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインSi-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※ 既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※ B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※ B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※ 二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※ 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※ 二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※ 施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイナ	16kg	—	0.3~ 0.9ℓ (清水)	0.80~ 1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~ 1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~ 0.9ℓ (清水)	0.70~ 1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファインMS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合 : 0~5% エアレスの場合 : 5~10% (清水)	0.25~0. 35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMS-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドファイナ」16kgに、清水0.3~0.9ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※ 既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※ B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※ B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※ 二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※ 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※ 二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※ 施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上	ウールローラー	
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上	リシンガン	
上塗	ビルドテックリファインMF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上5 日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMF-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。  
※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ  
※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>  
※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイラー	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質 ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上	ウールローラー	
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上	リシガン	
上塗	ビルドテックリファインSi-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインSi-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドファイラー」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーEP	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファインMS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合 : 0~5% エアレスの場合 : 5~10% (清水)	0.25~0.3 5 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMS-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーEP」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。  
※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ  
※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>  
※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



コンクリート・モルタル・ALC

(新設ALC)

**【低汚染遮熱弾性仕様】**

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルトファイナ	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質 ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルトテックリファインMS-IR (弾性) A液	15kg	15	0~3% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エア
	ビルトテックリファインMS-IR B液	1kg	1							

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・「水性一液ビルドファイナ」16kgに、清水0.3~0.9ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

## 3.上塗

- ・「超低汚染リファイン弾性MS-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0~3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# コンクリート・モルタル・ALC (新設ALC) 【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイラー-Eポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間 以上	—	多孔質 ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間 以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間 以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファインMS-IR (弾性) A液	15kg	15	0~3% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMS-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドファイラー-Eポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※ **既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「超低汚染リファイン弾性MS-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0~3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※ **B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※ **B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※ **二液型塗料ですので、使用前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※ **混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※ **二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※ **施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜: 一般塗料・一般塗料クリヤー)

## 【塗装仕様】

# 窯業系サイディング

## (既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

## (既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

## (既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	スーパーラジカルシリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3.上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

## (既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iホ°ル°ワシーラーJY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	Iホ°ル°ワシーラーJY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

## (既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iホ°ル°ワシーラーJY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	Iホ°ル°ワシーラーJY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

## (既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	イボパワーシーラーJY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	イボパワーシーラーJY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	スーパーラジカル シリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「イボパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ワールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	IP°パワーシーラーJY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	IP°パワーシーラーJY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	シリコンフレックスJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックスJY B液	2kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「IP°パワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クラー) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クラー) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クラー) 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質 ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	スーパーラジカル シリコンGH	16kg	—	0.8~1.6 ℓ	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3.上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6 ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

## (既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	シリコンフレックスJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックスJY B液	2kg	1							

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- ・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

## (既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

## (既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

## (既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	スーパーラジカル シリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ワールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	シリコンフレックスJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックスJY B液	2kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜: 一般塗料・一般塗料クリヤー)

**【遮熱仕様】**

# 窯業系サイディング

## (既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー)【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合： —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合： 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング (既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー)【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	I <sup>®</sup> パワーシーラー	15kg	—	透明の場合： —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合： 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング (既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー)【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iホ°ル°ワシーラー-JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	Iホ°ル°ワシーラー-JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合： 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー-JY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング (既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー)【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラーJY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エポパワーシーラーJY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合： 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング (既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー)【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング (既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー)【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー <sup>®</sup>	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

1. 下地調整
- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
2. 下塗
- ・「水性一液ビルドフィラー<sup>®</sup>」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
  - ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
  - ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
3. 上塗
- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
  - ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

- 【注意】
- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
  - ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
  - ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
  - ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
  - ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
  - ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
  - ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
  - ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
  - ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング (既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー)【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング (既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー)【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜: 一般塗料・一般塗料クリヤー)

**【低汚染遮熱仕様】**

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	「エポパワーシーラー」	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0 ℓ (清水)						
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて下塗は下地の状態により1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0 ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
- ※塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
- ※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**
- ※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。
- また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

## 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

## (既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	「エポパワーシーラー」	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0 ℓ (清水)						
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて下塗は下地の状態により1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0 ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
- ※塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
- ※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**
- ※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。
- また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iポワシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0 ℓ (清水)						
上塗	ビルドテックリファイン MS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合: : 0~5% エアレスの場合: : 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MS-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて下塗は下地の状態により1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0 ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
- ※塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
- ※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**
- ※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。
- また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	イポパワシーラーJY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	イポパワシーラーJY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテックリファインMF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMF-IR B液	1kg	1							

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・「イポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
  - ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
  - ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
  - ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
  - ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
  - ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。  
 ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。  
 ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。  
 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分だと、低汚染機能が発揮出来ません。  
 ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。  
 ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	イボパワーシーラー JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	イボパワーシーラー JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合 : 0~5% エアレスの場合 : 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・「イボパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアス
	エポパワーシーラー JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテックリファイン MS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合 : 0~5% エアスの場合 : 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアス
	ビルドテックリファイン MS-IR B液	1kg	1							

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
  - ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
  - ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
  - ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
  - ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
  - ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。  
 ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。  
 ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。  
 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分だと、低汚染機能が発揮出来ません。  
 ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。  
 ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイラー <sup>®</sup> Eポ	16kg	—	0.3~ 0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~ 1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~ 0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファインMF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上5 日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMF-IR B液	1kg	1							

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・「水性一液ビルドファイラーEポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ※<sup>1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※ 既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

## 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※ B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※ B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※ 二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※ 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※ 二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※ 施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイナー-Eポ	16kg	—	0.3~ 0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質 ローラー
				0.9~ 1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールロー ラー
				0.6~ 0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・水性一液ビルドファイナー-Eポ 16kgに、清水0.3~0.6ℓ※<sup>1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

## 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイラーE液	16kg	—	0.3~ 0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~ 1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~ 0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リジガン
上塗	ビルドテックリファインMS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合 : 0~5% IPLSの場合 : 5~10% (清水)	0.25~0.3 5 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ IPLS
	ビルドテックリファインMS-IR B液	1kg	1							

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・「水性一液ビルドファイラーE液」16kgに、清水0.3~0.6ℓ※<sup>1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リジガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リジガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※ 既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

## 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※ B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※ B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※ 二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※ 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※ 二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※ 施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテックリファインMF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMF-IR B液	1kg	1							

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
  - ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
  - ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
  - ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
  - ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。  
 ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。  
 ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。  
 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分だと、低汚染機能が発揮出来ません。  
 ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。  
 ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~ 0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

## 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー) 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~ 0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドアップクリファイン MS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合 : 0~5% エアレスの場合 : 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドアップクリファイン MS-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
  - ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
  - ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

## 3. 上塗

- ・「ビルドアップクリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分だと、低汚染機能が発揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜: 一般塗料・一般塗料クリヤー)

**【低汚染遮熱弾性仕様】**



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クラー) 【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~ 0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~ 1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~ 0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファインMS-IR (弾性) A液	15kg	15	0~3% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMS-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (弾性)」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0~3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クラー) 【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	弾性エポシーラー	15kg	—	透明の場合： —	0.10~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合： 0~3% (清水)						
上塗	ビルドテックリファイン MS-IR (弾性) A液	15kg	15	0~3% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MS-IR B液	1kg	1							

## 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- ・「弾性エポシーラー」を、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.10~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「弾性エポシーラー(透明)」は原液、「弾性エポシーラー(白)」は清水0~3%を加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
- ※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

## 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (弾性)」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0~3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

## 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜: 仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・  
意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

1. 下地調整
  - ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
2. 下塗
  - ・「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
  - ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
  - ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
3. 上塗
  - ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
  - ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上	ウールローラー	
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上	リシンガン	
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

1. 下地調整
  - ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
2. 下塗
  - ・「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
  - ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
  - ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
3. 上塗
  - ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
  - ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	スーパーラジカル シリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドファイラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※ **既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	シリコンフレックス JY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナーDX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間以上 7日以内	—	24時間以上	ローラー/エアレス
	シリコンフレックス JY B液	2kg	1							

- 下地調整
  - 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
- 下塗
  - 「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
  - 工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
  - ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
- 上塗
  - 「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - 可使時間は4時間以内(25℃)とする。
  - 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
  - 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質 ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※ **既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイラーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	スーパーラジカル シリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドファイラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※ **既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	シリコンフレックスJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックスJY B液	2kg	1							

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- ・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	スーパーラジカルシリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。

※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。

- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3.上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iポワシーラー-JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	Iポワシーラー-JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー-JY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iホ°ル°ワシーラー-JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	Iホ°ル°ワシーラー-JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー-JY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iホ®パワーシーラー-JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	Iホ®パワーシーラー-JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	スーパーラジカル シリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「Iホ®パワーシーラー-JY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3. 上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	IP°パワーシーラーJY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	IP°パワーシーラーJY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	シリコンフレックスJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックスJY B液	2kg	1							

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「IP°パワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3. 上塗

- ・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	スーパーラジカル シリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	シリコンフレックスJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックスJY B液	2kg	1							

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜: 仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・  
意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【遮熱仕様】

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

- 下地調整
  - 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
- 下塗
  - 「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup>※2塗布する。
  - 工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
  - ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
- 上塗
  - 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
  - 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~0.9 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

- 下地調整
  - 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
  - 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、附着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
  - 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
  - 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。
- 下塗
  - 「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9 ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup> ※2 塗布する。
  - 工程間は5時間以上(25℃)とする。
  - ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
  - ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
  - ※ **既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**
- 上塗
  - 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
  - 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
  - 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。

※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。

- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iホ°ル°ワシーラー-JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	Iホ°ル°ワシーラー-JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エポパワーシーラー-JY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラーJY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エポパワーシーラーJY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜: 仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・  
意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイラー	16kg	—	0.3~0.9 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上5 日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドファイラー」16kgに、清水0.3~0.9 ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイナ	16kg	—	0.3~0.9 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドファイナ」16kgに、清水0.3~0.9 ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使用時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使用時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイラー	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファイン MS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合 : 0~5% エアレスの場合 : 5~10% (清水)	0.25~0.3 5 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MS-IR B液	1kg	1							

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「水性一液ビルドファイラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使用時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使用時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイアーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- 「水性一液ビルドファイアーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- 「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイアーエポ	16kg	—	0.3~0.6 ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2 ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9 ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- 「水性一液ビルドファイアーエポ」16kgに、清水0.3~0.6 ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2 ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9 ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- 「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上がりをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドファイナーエポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファイン MS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合 : 0~5% エアレスの場合 : 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MS-IR B液	1kg	1							

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「水性一液ビルドファイナーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>\*1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>\*2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iポワシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上5 日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エボパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エボパワーシーラー(透明)」は原液、「エボパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
- ※**下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。**
- ※「エボパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。
- また「エボパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れてください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iポワシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「エボパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「エボパワーシーラー(透明)」は原液、「エボパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
- ※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
- ※「エボパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。
- また「エボパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れてください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Eポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: —	0.13~ 0.20 kg/m <sup>2</sup>	1~2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合: 1.5~3.0ℓ (清水)						
上塗	ビルドテックリファインMS- IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合: : 0~5%	0.25~0.3 5 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMS- IR B液	1kg	1	エアレスの場合: : 5~10% (清水)						

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「Eポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで0.13~0.20kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「Eポパワーシーラー(透明)」は原液、「Eポパワーシーラー(白)」は清水1.5~3.0ℓを加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「Eポパワーシーラー」を使用したローラーやバケツは十分に洗浄してください。

また「Eポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	イボパワーシーラー JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	イボパワーシーラー JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上5 日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「イボパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iポパワーシーラー JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	Iポパワーシーラー JY B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「IポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いは十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	「IポパワーシーラーJY」 A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	「IポパワーシーラーJY」 B液	2.5kg	1		※吸込みの 多い下地の 場合: 0.15~0.34 kg/m <sup>2</sup>					
上塗	「ビルドテックリファインMS- IR (艶消)」 A液	13kg	13	ローラーの場合 : 0~5% エアレスの場合 : 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	「ビルドテックリファインMS- IR」 B液	1kg	1							

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「IポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.08~0.15kg/m<sup>2</sup>、吸込みの多い下地の場合0.15~0.34kg/m<sup>2</sup>を塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上5 日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いは十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	ビルドテックリファインMS- IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合 : 0~5% エアレスの場合 : 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMS- IR B液	1kg	1							

### 1.下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2.下塗

- ・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1~2回塗りで、0.15~0.30kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3.上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。

※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。

※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。

混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。

※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。

※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。



# 窯業系サイディング

(既存塗膜: 仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・  
意匠性塗材(ジョリパット他))

**【低汚染遮熱弾性仕様】**

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))  
【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラーエポ	16kg	—	0.3~ 0.6ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~ 1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~ 0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファインMS-IR (弾性) A液	15kg	15	0~3% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMS-IR B液	1kg	1							

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラーエポ」16kgに、清水0.3~0.6ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (弾性)」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0~3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))  
【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー	16kg	—	0.3~ 0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~ 1.2ℓ (清水)	0.30~ 0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~ 0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間 以上	5時間以上		リシンガン
上塗	ビルドテックリファインMS-IR (弾性) A液	15kg	15	0~3% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMS-IR B液	1kg	1							

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「水性一液ビルドフィラー」16kgに、清水0.3~0.9ℓ<sup>※1</sup>を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80~1.5kg/m<sup>2</sup><sup>※2</sup>塗布する。
- ・工程間は5時間以上(25℃)とする。
- ※ ウールローラーの場合清水0.9~1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6~0.9ℓ
- ※ ウールローラーの場合0.30~0.60kg/m<sup>2</sup>、リシンガンの場合0.70~1.2kg/m<sup>2</sup>
- ※**既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。**

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (弾性)」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0~3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※**B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※**B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※**二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- ※**混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※**二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※**施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

# 窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

## 【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	弾性エポシーラー	15kg	—	透明の場合： —	0.10～0.15 kg/m <sup>2</sup>	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ローラー/ エアレス
				白の場合： 0～3% (清水)						
上塗	ビルドテックリファイン MS-IR (弾性) A液	15kg	15	0～3% (清水)	0.30～0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MS-IR B液	1kg	1							

### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 2. 下塗

- ・「弾性エポシーラー」を、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.10～0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ※「弾性エポシーラー(透明)」は原液、「弾性エポシーラー(白)」は清水0～3%を加えて使用する。
- ・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
- ※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

### 3. 上塗

- ・「ビルドテックリファインMS-IR (弾性)」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0～3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30～0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- ・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

**金属サイディング**  
**(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・**  
**ステンレス・アルミニウム)**

**(既存塗膜: 一般塗料)**

**下地調整後の錆の程度:**  
**錆なし・点錆程度**  
**【塗装仕様】**

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーマルJY A液	14.4kg	9	0.8~2.4 ℓ (アステックシナー-DX)	0.14~0.17 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エポパワーマルJY B液	1.6kg	1							
上塗	ビルドテック フッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

**※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。**

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「エポパワーマルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシナー-DX 0.8~2.4 ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14~0.17kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
- 工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーマタルJY A液	14.4kg	9	0.8~2.4ℓ (アステックシナー-DX)	0.14~0.17 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エポパワーマタルJY B液	1.6kg	1				—	—	—	
上塗	ビルドテック シリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「エポパワーマタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシナー-DX 0.8~2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14~0.17kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
- 工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。



# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	Iホ°ル°ワ-メタルJY A液	14.4kg	9	0.8~2.4ℓ (アステックシンナー-DX)	0.14~0.17 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	Iホ°ル°ワ-メタルJY B液	1.6kg	1							
上塗	シリコンフлексJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー-DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフлексJY B液	2kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- ・「シリコンフлексJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナー-DX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- ・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 3. 上塗

- ・「ヒルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- ・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックメタルプライマー	16kg	—	0.8~1.6 ℓ (アステックシンナー-DX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテックフッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナー-DX 0.8~1.6 ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックメタルプライマー	16kg	—	0.8~1.6ℓ (アステックシナー-DX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテックシリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシナー-DX 0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックメタルプライマー	16kg	—	0.8~1.6ℓ (アステックシンナー-DX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	シリコンフレックスJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー-DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフレックスJY B液	2kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナー-DX 0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナー-DX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液エクセルエポプライマーJY	16kg	—	0~2ℓ (アステックシンナー-DX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテックフッ素REVO	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「一液エクセルエポプライマーJY」16kgにアステックシンナー-DX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。



# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液エクセルエポプライマーJY	16kg	—	0~2ℓ (アステックシナーDX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテックシリコンREVO	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- ・「一液エクセルエポプライマーJY」16kgにアステックシナーDX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
- ・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- ・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- ・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- ・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- ・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- ・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液エクセルエポプライマーJY	16kg	—	0~2ℓ (アステックシンナー-DX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	シリコンフлексJY A液	12kg	6	0~2ℓ (アステックシンナー-DX)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シリコンフлексJY B液	2kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しい十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「一液エクセルエポプライマーJY」16kgにアステックシンナー-DX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「シリコンフлексJY」のA液とB液を6:1の比率で調合しアステックシンナー-DX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ワールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。



# 金属サイディング

(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・  
ステンレス・アルミニウム)

(既存塗膜: 一般塗料)

下地調整後の錆の程度:  
錆なし・点錆程度  
【遮熱仕様】

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーメタルJY A液	14.4kg	9	0.8~2.4ℓ (アステックシンナー-DX)	0.14~0.17 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エポパワーメタルJY B液	1.6kg	1							
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「エポパワーメタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシンナー-DX 0.8~2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14~0.17kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
- 工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーマタルJY A液	14.4kg	9	0.8~2.4 ℓ (アステックシンナー-DX)	0.14~0.17 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エポパワーマタルJY B液	1.6kg	1				—		—	
上塗	ビルドテック シリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「エポパワーマタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシンナー-DX 0.8~2.4 ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14~0.17kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
- 工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックメタルプライマー	16kg	—	0.8~1.6 ℓ (アステックシンナーDX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテックフッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナーDX 0.8~1.6 ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックメタルプライマー	16kg	—	0.8~1.6 ℓ (アステックシンナーDX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテックシリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナーDX 0.8~1.6 ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液エクセルエポプライマー-JY	16kg	—	0~2ℓ (アステックシンナー-DX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテック フッ素REVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「一液エクセルエポプライマー-JY」16kgにアステックシンナー-DX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。



# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液エクセルエポプライマー-JY	16kg	—	0~2ℓ (アステックシンナー-DX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテックシリコンREVO-IR	15kg	—	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「一液エクセルエポプライマー-JY」16kgにアステックシンナー-DX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・  
ステンレス・アルミニウム)

(既存塗膜: 一般塗料)

下地調整後の錆の程度:  
錆なし・点錆程度  
【低汚染遮熱仕様】

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	イポパワーメタルJY A液	14.4kg	9	0.8~2.4ℓ (アステックシンナーDX)	0.14~0.17kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	イポパワーメタルJY B液	1.6kg	1							
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「エポパワーメタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシンナーDX 0.8~2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14~0.17kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
- 工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。  
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーメタルJY A液	14.4kg	9	0.8~2.4ℓ (アステックシナーDX)	0.14~0.17kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エポパワーメタルJY B液	1.6kg	1							
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.30~0.40kg/m <sup>2</sup>	2	4時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にクレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「エポパワーメタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシナーDX 0.8~2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14~0.17kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
- 工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーメタルJY A液	14.4kg	9	0.8~2.4ℓ (アステックシンナーDX)	0.14~0.17 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エポパワーメタルJY B液	1.6kg	1							
上塗	ビルドテックリファイン MS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MS-IR B液	1kg	1							

**※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。**

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆が著しいが十分にクレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「エポパワーメタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシンナーDX 0.8~2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14~0.17kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
- 工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。**
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。**
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。**
- 混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。**
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。**
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。**

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。



# 金属サイディング

(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)  
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックメタルプライマー	16kg	—	0.8~1.6 ℓ (アステックシナーDX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上7日以内	—	ローラー/エアレス
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間以上5日以内	—	24時間以上	ローラー/エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

## 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- 「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシナーDX 0.8~1.6 ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

## 3. 上塗

- 「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。



# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックメタルプライマー	16kg	—	0.8~1.6ℓ (アステックシンナーDX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にクレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナーDX 0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをするをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックメタルプライマー	16kg	—	0.8~1.6ℓ (アステックシンナーDX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテックリファインMS-IR(艶消)A液	13kg	13	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMS-IRB液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にクレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナーDX 0.8~1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックリファインMS-IR(艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使用時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使用時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

# 金属サイディング

(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)  
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液エクスセルエポプライマー-JY	16kg	—	0~2ℓ (アステックシナー-DX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテックリファイン MF-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン MF-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

## 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

## 2. 下塗

- 「一液エクスセルエポプライマー-JY」16kgにアステックシナー-DX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

## 3. 上塗

- 「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

## 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上がりをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをするをお勧めします。

# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液エクセルエポプライマー-JY	16kg	—	0~2ℓ (アステックシンナー-DX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテックリファイン Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合: 0~5% エアレスの場合: 5~10% (清水)	0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファイン Si-IR B液	1kg	1							

**※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。**

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にクレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「一液エクセルエポプライマー-JY」16kgにアステックシンナー-DX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.30~0.40kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使用時間は4時間以上(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使用時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。



# 金属サイディング

## (カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

### 下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液エクセルエポプライマー-JY	16kg	—	0~2ℓ (アステックシンナー-DX)	0.13~0.15 kg/m <sup>2</sup>	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
上塗	ビルドテックリファインMS-IR (艶消) A液	13kg	13	ローラーの場合： 0~5% エアレスの場合： 5~10% (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	ビルドテックリファインMS-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

#### 1. 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にクレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。  
(アルミニウム下地を除く)
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

#### 2. 下塗

- 「一液エクセルエポプライマー-JY」16kgにアステックシンナー-DX 0~2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13~0.15kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- 施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

#### 3. 上塗

- 「ビルドテックリファインMS-IR (艶消)」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0~5%、エアレスの場合5~10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて2回塗りで、0.25~0.35kg/m<sup>2</sup>塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
- ※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。
- ※混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- ※二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

#### 【注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上がりをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

## 付帯部(鉄部)施工の場合

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	シーラー(錆の発生が著しい場合は、十分な下地調整を行った上で、錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	マックスシールド <sup>®</sup> 1500U-JY A液	13.5kg	9	0~1.5ℓ (アステックシナー-DX)	0.24~0.28 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	マックスシールド <sup>®</sup> 1500-JY B液	1.5kg	1							

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	シーラー(錆の発生が著しい場合は、十分な下地調整を行った上で、錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	マックスシールド <sup>®</sup> 1500Si-JY A液	13.5kg	9	0~1.5ℓ (アステックシナー-DX)	0.24~0.28 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	マックスシールド <sup>®</sup> 1500-JY B液	1.5kg	1							

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	シーラー(錆の発生が著しい場合は、十分な下地調整を行った上で、錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	マックスシールド <sup>®</sup> 1500F-JY A液	13.5kg	9	0~1.5ℓ (アステックシナー-DX)	0.24~0.28 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	マックスシールド <sup>®</sup> 1500-JY B液	1.5kg	1							



## 付帯部(硬質塩ビ)施工の場合

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	シーラー(金属面には錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	マックスシールド <sup>®</sup> 1500U-JY A液	13.5kg	9	0~1.5ℓ (アステックシナー-DX)	0.24~0.28 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上	—	24時間 以上	0-ラー/ IPLス
	マックスシールド <sup>®</sup> 1500-JY B液	1.5kg	1							

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	シーラー(金属面には錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	マックスシールド <sup>®</sup> 1500Si-JY A液	13.5kg	9	0~1.5ℓ (アステックシナー-DX)	0.24~0.28 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上	—	24時間 以上	0-ラー/ IPLス
	マックスシールド <sup>®</sup> 1500-JY B液	1.5kg	1							

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	シーラー(金属面には錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	マックスシールド <sup>®</sup> 1500F-JY A液	13.5kg	9	0~1.5ℓ (アステックシナー-DX)	0.24~0.28 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上	—	24時間 以上	0-ラー/ IPLス
	マックスシールド <sup>®</sup> 1500-JY B液	1.5kg	1							

## 付帯部(木部)施工の場合

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	シーラー									
上塗	マックスシールド <sup>®</sup> 1500U-JY A液	13.5kg	9	0~1.5ℓ (アステックシナー-DX)	0.24~0.28 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ イレス
	マックスシールド <sup>®</sup> 1500-JY B液 (弾性)	1.5kg	1							

※木部の上に塗装する際には弾性用硬化剤をご使用ください。

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	シーラー									
上塗	マックスシールド <sup>®</sup> 1500Si-JY A液	13.5kg	9	0~1.5ℓ (アステックシナー-DX)	0.24~0.28 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ イレス
	マックスシールド <sup>®</sup> 1500-JY B液 (弾性)	1.5kg	1							

※木部の上に塗装する際には弾性用硬化剤をご使用ください。

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	シーラー									
上塗	マックスシールド <sup>®</sup> 1500F-JY A液	13.5kg	9	0~1.5ℓ (アステックシナー-DX)	0.24~0.28 kg/m <sup>2</sup>	2	3時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ イレス
	マックスシールド <sup>®</sup> 1500-JY B液 (弾性)	1.5kg	1							

※木部の上に塗装する際には弾性用硬化剤をご使用ください。

# 株式会社アステックペイント

本社:〒812-0013  
福岡市博多区博多駅東3-14-1  
T-Building HAKATA EAST 9F  
TEL:092-626-7776      FAX:050-3730-9844

福岡営業所	〒811-2233 福岡県糟屋郡志免町別府北4-2-8 TEL:092-626-7776	東京営業所	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-6-1-10F TEL:03-3222-3603
大阪営業所	〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-5-3 B1F TEL:06-6305-3115	沖縄営業所	〒901-2201 沖縄県宜野湾市新城2-39-3-102 TEL:050-5846-1003

<https://astecpaints.jp/>